令和４年度自己評価結果公表シート

学校法人聖リゴリオ学園

ちのせいぼ幼稚園

I.　本園の教育目標

1. 神様に愛されている喜びを知り、思いやりのある子どもを育てる。
2. 自分で考え行動するための生きる力を育てる。
3. 相手の目を見てしっかり挨拶のできる子どもを育てる

な	仲間を大切にし
か	感謝の心を忘れずに
よ	喜んで困難に立ち向かい
し	親切で優しい心を育てます

Ⅱ．本年度の重点的に取り組む目標・計画

年長児　様々な体験を通して、達成感や充実感を味わい、意欲的に活動に取り組む

・友だちと力をあわせ、助け合いの心を育む

・困難なこともあきらめず取り組み、達成感や喜びを味わう。

年中児　相手の思いを受け入れ、自分の思いを素直に伝える

・自分の思いや考えを伝えるとともに、相手の思いにも気づき受け入れようとする。

年少児　園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分なりにやってみようとする

・安心して園生活を送り、自分をのびのびと表す。

・保育者や友だちに親しみを持つ。

Ⅲ．評価項目の達成及び取組状況

評価の基準　　A:十分達成できた　　B:おおむね達成している

C:あまり達成できなかった　　D:ほとんど達成できなかった

評価項目		取組み状況	評価
幼稚園管理運営	幼稚園の教育目標と重点目標の周知	・幼稚園の教育目標を具体的な言葉で表し、園が目指す幼児の姿を明確にして保護者に周知している。 ・全職員で共通理解を計りながら、クラス、学年、園全体の教育活動の充実を図っている。	A
	危機管理体制の整備	・危機管理マニュアルの中で、各職員の役割を明確にし、周知徹底している。 ・避難訓練を計画的に実施し、緊急事態への備えを万全にしている。 ・園内での事故を無くすための工夫と努力が十分になされている。	A
	家庭、地域、関係機関への情報発信	・園から適切な情報を発信し、家庭や地域社会への幼稚園教育に対する理解を高める取り組みをしている。 ・参観日や行事へ参加しやすいように日程を配慮している。コロナ感染症予防のため、子どもや保護者が蜜にならないように、時間や 2 日間に分けての分散開催にした。祖父母参観は中止となり動画配信をした。 ・機関との連携が十分なされるよう努力している。	A

教育活動	教育目標に基づいた教育計画の編成と実施のための教職員の共通理解	・宗教教育の方針に沿い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。 ・教育の分野・家庭に添い、教職員間の共通理解のもとに指導計画が立てられている。 ・クラス・学年の活動の中で、社会性を育むよう指導がなされている。 ・心をこめた挨拶ができるよう、自らが手本となり十分な指導がされている。 ・子どもの想像力や行動力を豊かに育むための指導を積極的に行なっている	A
	発達段階に則した適切な幼児の環境理解	・1人ひとりの子どもを大切にし、発達段階に応じた適切な指導、援助を徹底している。 ・自主的、主体的に取り組めるよう、環境に十分配慮を行なっている。 ・身近な自然や社会と関わり、豊かな情操が育めるよう環境に十分配慮している。	A
	幼稚園と小学校との円滑な連携	・就学に向け、学校での教育内容や生活について情報を収集し、適切かつ十分な指導を行なっている。 ・配慮の必要な子どもについて、必要な情報を小学校と共有し十分な連携が行われている。 ・スムーズな小学校入学のために、幼保小で連携し接続期カリキュラムに取り組んでいる。 ・コロナ感染症予防のため、小学生との交流が行えなかった。	B
	教員の資質向上、研究、研修の充実	・学園研修・園内研修に積極的に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。 ・外部の研修会や研究会（リモート研修含む）に積極的に参加することにより、知識、技術、技能の向上が図られている。 ・キリスト教精神に基づく奉仕と感謝のこころで他の職員と協力して前向きに日々の職務にあたっている。	A

Ⅳ.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【総合評価】

A

コロナ禍での教育活動ではあったが、教育・保育内容、行事、感染症対応について概ね高評価を頂き、日頃の努力の成果が表れた。制約のある中で、できることを考え、また新たな方法や取り組みに挑戦することができた

コロナ禍で多くの研修がリモート対応となり、日程調整や時間確保が難しかった。配慮を要する園児が増え職員のニーズもあり、講師を招いて「特別支援教育」の研修を行った。職員は意欲的に学び「個別の支援計画」も作成できた。今後も職員の資質向上のため、研修に参加できるように努めていきたい。

Ⅴ. 今後取り組むべき課題

- 新型コロナウイルス感染症対応について考えられる対応を行ってきた。今後も状況を注視し、最善の対応をしていく。
- 新型コロナウイルス感染症対応を行う中で、行事のあり方の見直しを行う良い機会となった。With コロナの中で、必要なものと不要なものをしっかりと精査し、子どもたち・保護者・保育者がともに満足のできるものとなるよう検討することが必要となる。また、積極的に新たな方法も取り入れていきたい。
- コロナ禍のため様々な経験の場や交流の機会が少なくなったことを危惧する声も聴かれた。コロナ感染症が 5 類になった後、子どもの学びを更に質の高いものにしていくために、創意工夫し教育活動を充実させていく必要がある。

- 預かり保育やバス通園の皆様にはなかなか子どもの様子をお伝えできない現状がある。また、今年度も参観の時間が短いなど園でのお子様の様子を知っていただくことが十分ではなかった。安心してお子様を預けて頂くためにも、また共に連携して子どもを育てていくためにも、園でのお子様の様子を伝える方法を工夫していく必要がる。
- 「1日先生体験」の良さを保護者に伝え、推奨していきたい。
- 認定こども園に移行し3年が過ぎたが、保護者に不安なく受け入れて頂けたと考える。預かり保育の日数が増え時間も長くなり(7:30～18:30)、就労している保護者の方から高評価を受けている。今後もより一層の教育活動の充実、保護者への丁寧な説明に努めていきたい。
- 園児数は来年度は今年度とほぼ同数。今後少子化が進む中、利用定員数を見直し、園児数を保持または増加していくことための魅力ある幼稚園教育・運営が課題となっていく。

Ⅵ. 学校評価委員会の評価

総合的に見ておおむね達成できているという評価を得た。その他下記の様な意見を頂いた。

- 学校評価アンケートではどの項目も高評価であり、教育目標に対する評価も高い。園での取組が保護者に受け入れられ認められていることが伺える。感謝の心や親切で優しいは、貴園で大切にしていることだと思うので、今後も更に発展・深化していけるとよいと思う。
- 保護者の記述した内容からも、貴園の取組の良さやそれを受け入れ、安心して登園させている保護者の気持ちが伝わってきた。コロナ禍により様々な制約や工夫・変更があったと思うが、来年度もより充実した運営を期待している。
- 難しい課題にもかかわらず、子どもたちの取り組み方が活発・意欲的であり、集中している姿が印象的だった。
- 新型コロナウィルス感染症の厳しい状況が続く中でも、工夫して教育活動に取り組まれ、子どもさんたちも元気に活動されている様子を知り、嬉しく思う。
  子どもはどんな状況下でも、成長を続け、また取り返しのつかない人生の時期を過ごしている。特にひとりひとりの子どもの願いをしっかり受け止め、声掛け、励ましを大切に教育活動を継続していってもらいたい。
- コロナ禍でも感染対策を工夫し各種行事を安全に開催している幼稚園関係者に敬意を表したい。
- コロナ禍の中、子どもたちにとっては貴重な一年間。できることを最大限工夫等して、笑顔溢れる子どもたち、友だちと一緒になって取り組める子どもたちを育ててきたことに敬意を表したい。
- ピーカーブー広場の周辺、畑の周辺、馬入れフェンス際きれいにされていてされていて地域住民からも高評価を頂いている。見た目も非常に大事なので続けて欲しい。

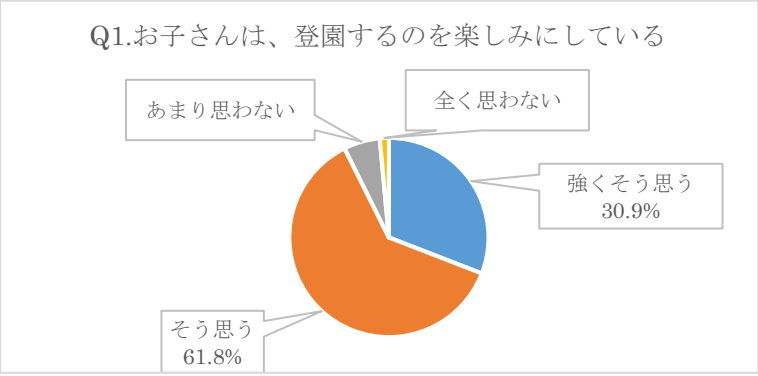
Ⅶ. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

Ⅷ. 保護者アンケート集計結果

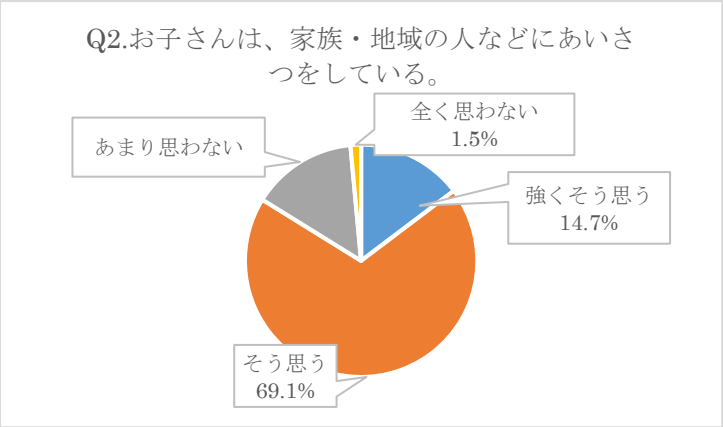
一. 保護者アンケート集計結果と考察（家庭数 83　回収数 76）

1　「幼稚園にくることが楽しい」について



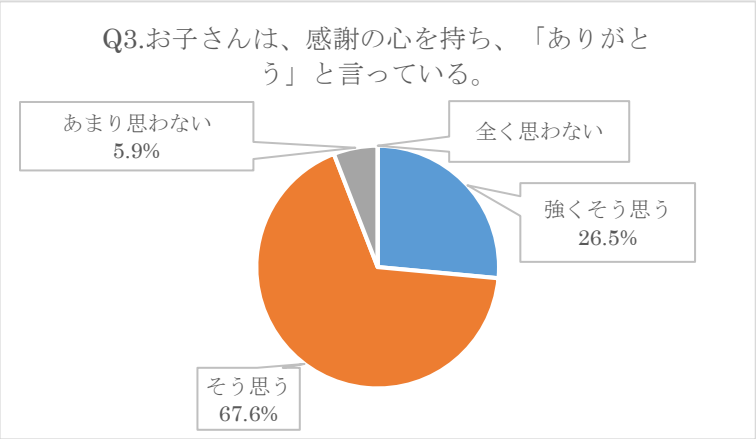
保護者が肯定的に回答している割合は、90%を超えた。概ね良好は結果ということができるが、否定的な回答をしている7．4パーセント(園児5人)についても、しっかりと受け止めていく必要がある。背景には、遊び、友だちや先生との関係、園生活における様々な要因が考えられるので、園児の日常の様子、感じ方や考え方を把握し子ども理解を深め、改善を図っていく必要がある。今後も全ての園児にとって、園が楽しく、期待感をもって登園することのできる幼稚園を目指し取り組んでいきたいと考える。

2　あいさつについて



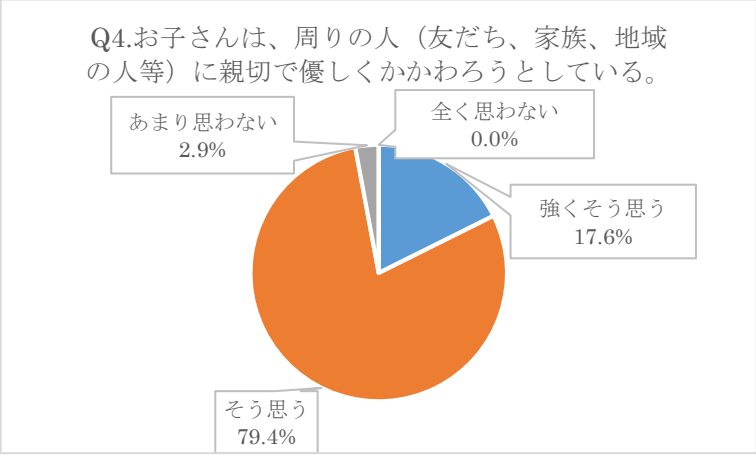
保護者が肯定的に回答している割合は83．8%であった。今後も教職員から進んであいさつをし、友だち同士でも、友だちのお父さんお母さんにもあいさつができるように取り組んでいきたい。

3　教育目標「感謝の心をわすれずに」について



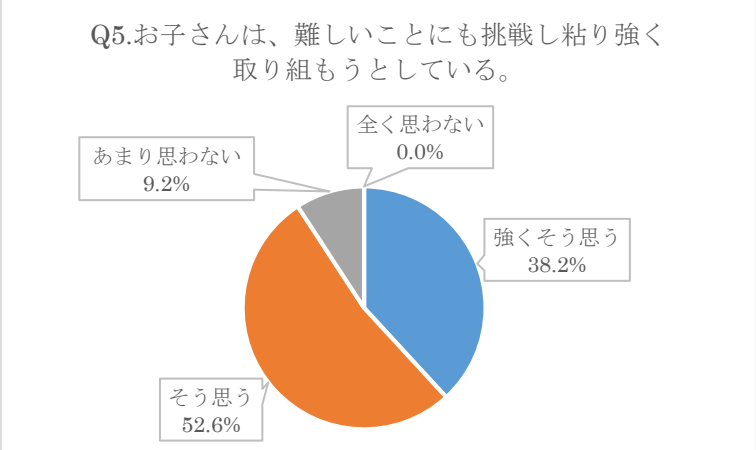
A、Bと肯定的に回答している割合は94．1%であった。教職員も感謝の心を忘れに、子どもたちのお手本をなるように取り組んでいきたい。

4　教育目標「親切でやさしい」について



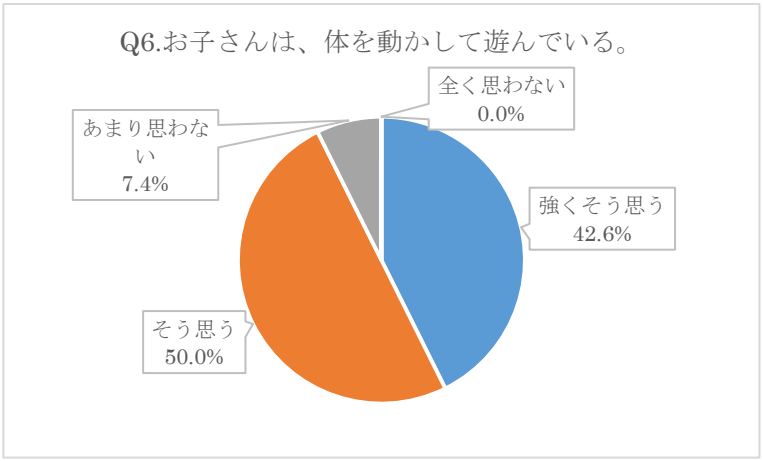
肯定的に回答している割合は97．0%であった。本園では日常的な園生活の中で、縦割り活動・横割り活動、地域の方々との交流等、様々な取り組みをしている。また、保護者の皆様も「親切で優しい思いやりのある子ども」に育って欲しいと多くの方々が考えている。両両者の取り組みが、よい結果に繋がっていると考える。

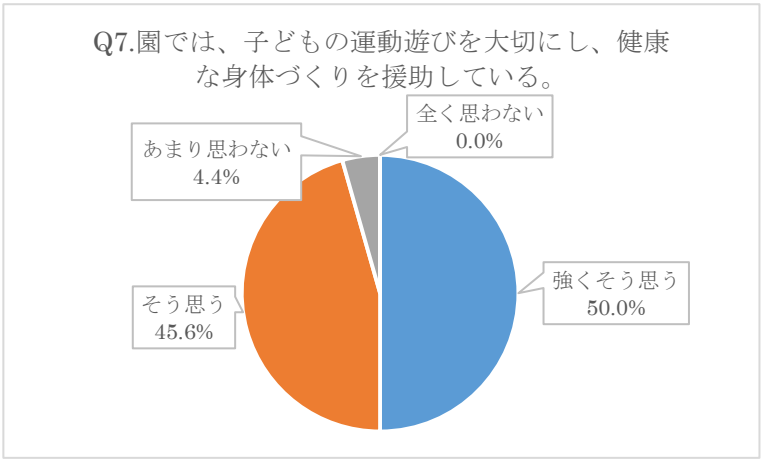
5　教育目標「難しいことにも挑戦し粘り強く取り組もうとしている」について



肯定的に回答している割合は82．9%であった。否定的な回答も17．1%と高く、本園の課題ともいえる。教育目標にも据え、園でも大切に指導している項目である。園の生活の中では、新しいことや難しいことにも挑戦していこうとしている子どもたちの姿がたくさん見られる。そんな姿を家庭にもしっかりと伝えしていく必要がある。また、子どもたちの現状より少し高い課題、難しいことにも挑戦する、といったことに夢中になって取り組める学びを積み重ねていきたい。

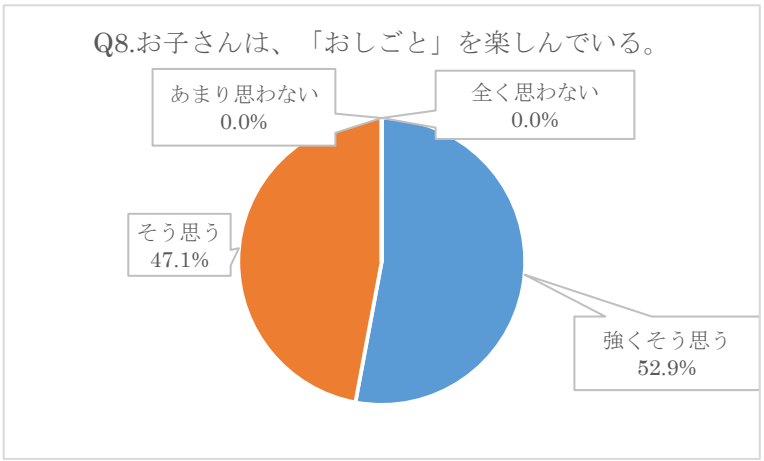
６、７　「体を動かし遊んでいる」「運動遊びを大切にし、援助している」について





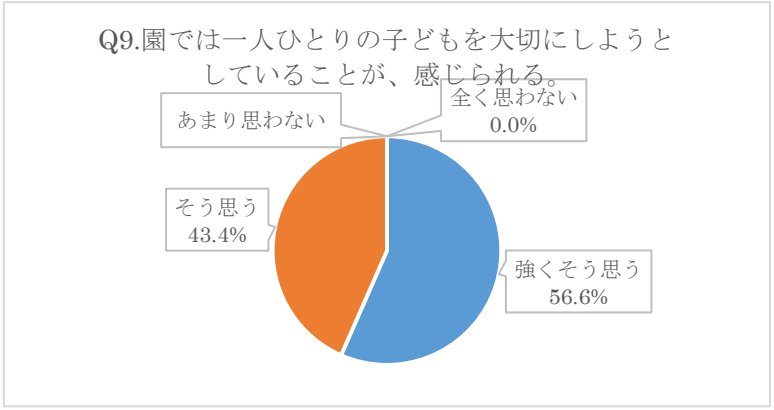
肯定的な回答は92．6%。であり、昨年度よりも多くなっている。そう思わないと回答している割合は7．4%(5名)である。この結果の背景には、子ども個々の差異があるのではないかと考えられる。小中学校の全国体力運動能力調査では、運動する子と運動しない子の二極化が指摘されている。本園では、外部講師を招いての体操指導や毎朝のサーキット遊び等を取り入れ、園児は比較的体を動かし遊んでいるが、個々の現状を見直し、子どもが遊びに夢中になる中で、楽しく体を動かせるように改善を図っていきたいと考える。

８　モンテッソーリ教育「おしごと」について



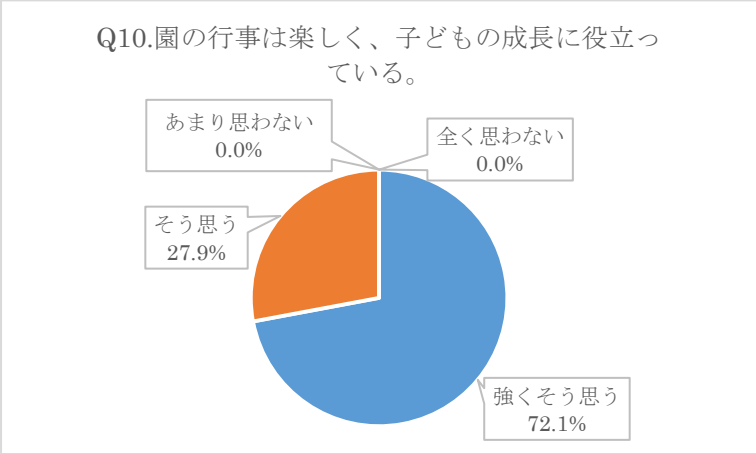
肯定的に回答している割合は100%であった。子どもたちが「おしごと」を楽しんでいることが伺える。集中して取り組み力も育ってきている。子どもの興味・発達段階・適時性をつかみ、その子にあった「おしごと」を提示したり、先生方もモンテッソーリ教育についての研修を積んだりし、「自分で選び、考え、工夫し、やり遂げる力」を伸ばしていきたい。

９　「ひとり一人の子どもを大切にしようとしている」について



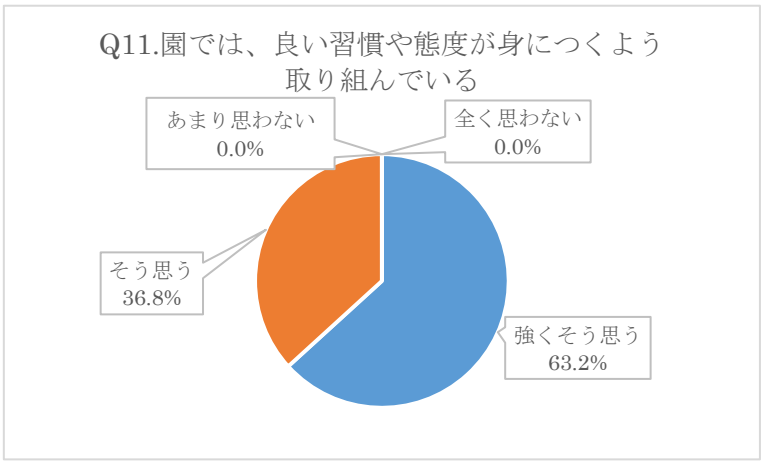
昨年度に続き、今年度も肯定的は回答を１００%いただき、大変感謝している。今後もひとり一人をよく見て、その子の思いや願いを汲み取り、その子の個性を伸ばせるような関わりを続けていきたい。

１０　園の行事について



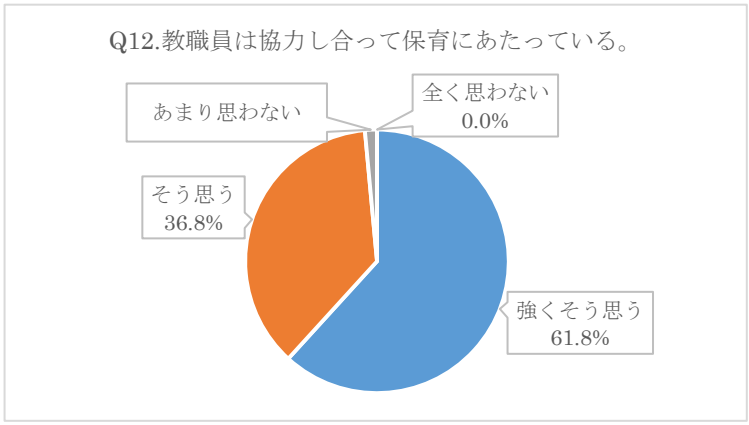
肯定的は回答は100％であった。強くそう思うという回答が増加している。保護者の皆様のご支援・ご協力を頂き、行事を通して、子どもたちの大きな成長が見られた。今後も、子どもたちの成長のために何を大切にするかを考え、子どもたち・保護者・保育者が共に満足できるようなものとなるよう創意工夫をしていきたい。

１１　「よい習慣や態度が身につくように取り組んでいる」について



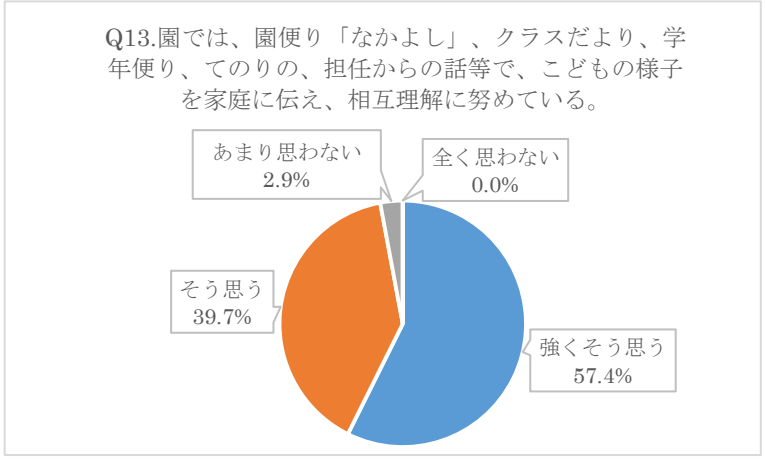
肯定的な回答は100％であった。保護者の皆様も「よい習慣や態度が身につくようにしたい」と願っている。本園と保護者の両者の取り組みが、よい結果に繋がっていると考える。

１２　「教職員は協力し合っている」について



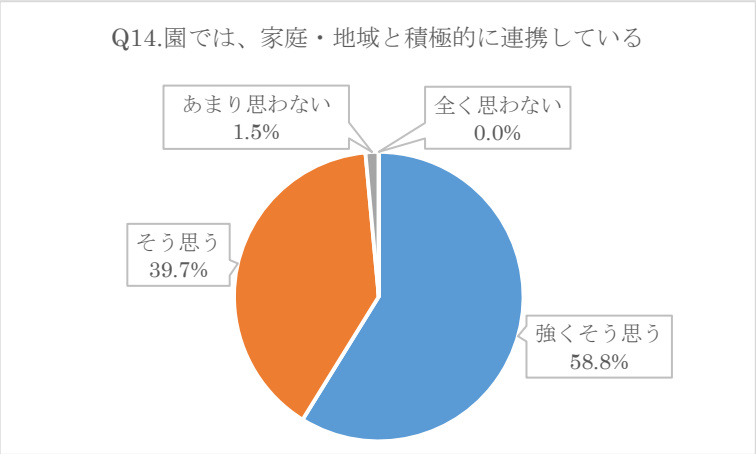
肯定的な回答は98．6％であった。これからも協力しあって保育にあたっていきたい。

１３　園では、子どもの様子を家庭に伝え、相互理解に努めている。



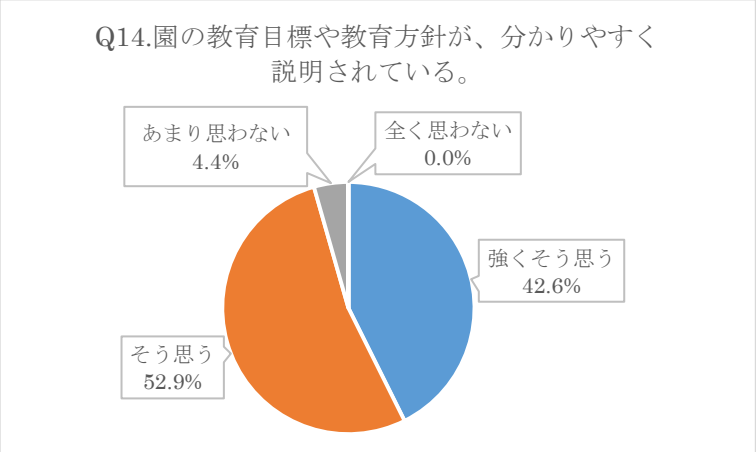
肯定的な回答は97．1％であったが、昨年度に引き続き、園では課題として捉えている。園だより「なかよし」、クラスだより、学年だより、パステルApps、電話連絡、個人懇談等を利用し、出来得る限り努めている。しかし、預かり保育やバス通園の皆様にはなかなか様子をお話できない現状がある。また、今年度も参観日が分散で短時間になるなど、園でのお子様の様子を知っていただくことが十分ではなかったと考えている。保護者の皆様に安心してお子様を預けて頂くためにも、また共に連携して子どもを育てていくためにも、今後も相互理解が図れるように努めていきたい。

１４　園では、家庭・地域と積極的に連携している。



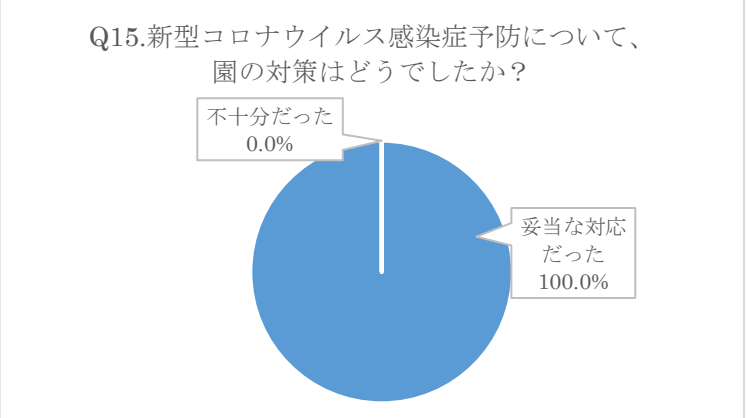
肯定的な回答は98．5％であった。保護者・地域の皆様にもご支援・ご協力をいただき感謝している。
地域に開かれた園を目指し取り組んできているが、地域に根付いている公立の園と比べると活動は少なく感じられるかもしれない。私立の幼稚園であること、また多方面の地域から在園している園児が多い中で、どのような活動をすることが地域に開かれた園となるのかは、今後も引き続き考えていきたい。
仲町区との皆様との交流（畑作り、焼き芋）、紙芝居・語りボランティアの方々との交流、また子育て支援には引き続き、積極的に取り組んでいきたい。

１５　園の教育目標や教育方針が、分かりやすく説明されている。



妥当であるという回答は100％であった。
今後は国や県の方針や施策に従い、子どもたちの安全と成長のための対応をしていきたい。

１６　新型コロナウィルス感染症予防について、園の対策は？



肯定的な回答は95．5％であった。更に、教育目標や方針を理解して頂けるような取り組みを進めていきたい。

二．令和４年度　保護者アンケート記述内容より

貴重なご意見をたくさんお寄せいただきありがとうございました。紙面の都合上全部を掲載できませんでした。皆様からお寄せいただいたご意見をご覧になりたい方は、事務室までお問合せください。

１　本園の子どもの良さは、どんなことですか？

≪宗教教育に関わって≫

- イエス様やマリア様を含め先生方に感謝の気持ちを持っている事です。また、学年の隔たりなく優しい気持ちや優しい言葉がけをしながらお互いが接している事です。
- 神様や感謝することが当たり前に存在している。
- 普段のお祈りや感謝を日常で表せるやさしさがあると感じます。

≪縦割りクラス編成に関わって≫

- 朝、下駄箱のところでＡ組さんやＢ組さんが下の学年の子を待っていたり、門のところから一緒に行ってあげようとするそんな姿を見かけることがあります。とても優しく、立派な姿だと思います。
- 給食などで、上の学年の子がお世話をしてくれると、子供から聞くことがあります。下の学年の我が子にとっては、とてもありがたいことですし、そう言った素晴らしい上級生の姿から、学んでいくんだなと常日頃感じております。上の学年の子が自ら進んで下の学年の子に手助けをしてあげられて、下の学年の子たちはそれを見て育つから人に親切に自然と出来ているところだと思います。
- 縦割りクラスのため、年上のお兄さんお姉さんのかっこいい姿がよいお手本になっているようです。また、面倒を見てもらったり、優しく接してもらったりするおかげで、自分も同じように年下のお友だちの面倒を見てあげたり、接してあげる優しい心が芽生えているようです。せいぼ幼稚園のお友だちは人を思いやる優しい気持ちを持っていると思います。
- 縦割り保育の特性が活かされ、上の子が自然と下の子に優しく、手を差し伸べる姿をよく目にします。下の子は、上の子をお手本や憧れとし、自分もこうしなければ、こうなりたいと思う気持ちを持てていると思います。
- 下の学年は上級生を見て学んで、上の学年は下級生を気にかける事で成長出来ていると思います。
- 縦割りのクラスで違う年齢のお友達と関わり合えること
- 学年の垣根なく仲良くできるところ

≪モンテッソーリ教育を通じて≫

- おしごとなど自分で何をやるか決めてそれを集中して行うことができ、上の子達が下の子達のお世話をしてお互いに成長している所。子どもの集中力がグンと上がった所。
- お仕事の時間で好きな事に集中して取り組む時間がいいと思います。
- おしごとも遊びもメリハリをつけてどちらも力いっぱい楽しんでいる。
- おしごとで難しそうな事に挑戦していて驚きました。

≪あいさつやお礼が言えること≫

- あいさつやお礼などが自然に言えていてすごいと思います。
- 挨拶ができること
- 礼儀正しい

≪個性を伸ばすことに関わって≫

- 子ども一人一人を大切にしてくださる。皆違って皆素敵という教育、子どもが主体的に取り組めるサポートが素晴らしいです。
- 子供を尊重し、子供が興味あるものを伸ばそうとしてくれてることです。
- 個性を大切にしてくださっているので伸び伸びとしているように思います。
- 個性を活かして伸ばそうとする環境を整えて頂いているところです。

≪自分で考える力をつけることに関わって≫

- 自分から考えて行動できる
- 一人一人意思をもって行動できることだと思います。
- のびのびと活動していく中で、あれしよう、これしようと考えて動いたり、必要なら声を出して話しかけられたり、友だちも大事にしている様子が感じられました。

≪優しく、思いやりのあること≫

- 皆優しく、思いやりを持ってお互いに接しているところ。
- 個々を理解しあって、助け合いが出来るところ。
- 優しく穏やかなお子さんが多い。

- どんな子でも仲良くしてくれる
- 新しい仲間や下の子に優しく接することができる。

≪その他≫

- 子供一人ひとりに真摯に向き合ってくれていると感じるところ
- 元気で、明るい
- 子どもらしいところ
- しっかり自分を持てること
- のびのびとしていて、積極的なところがとても良いと思います。
- みんなで合わせる時間、自分の好きなことを選んでできる時間のメリハリがあること。
- めりはりがしっかりとついており、お話を聞く際には姿勢よく落ち着いて聞けている印象があります。
- 運動会の際でも、園長先生のお話を聞く時に、落ち着きがなかったり、砂いじりをするなど、よく保育園で見られる光景がなかった事に、感心しました。
- 教育体制がしっかりしている。

よさとして多く挙げられているのは、「優しく思いやりがある」「異年齢の子どもたちが仲良くしようとしている」「あいさつやお礼が言えること」等でした。保護者の皆様・園の両者の願いや連携した取り組みが、よい姿に繋がり、よさとして評価してくださっています。また「子ども一人一人を大切にしてくださる。皆違って皆素敵という教育、子どもが主体的に取り組めるサポートが素晴らしいです。」という保護者のご意見を頂き、園で大切にしていることが保護者にも伝わり評価していただけて、教職員一同大変うれしく思っています。これからも園の方針を保護者に伝え、家庭や地域と共に本園の子どものよさを伸ばし続けていかれるように努めて参りたいと思います。

2　本園の子どもの課題は、どんなことですか？

≪子ども同士の繋がりについて≫

- 縦割りになっていることで同い年の子と接する機会が少ない。
- 小学校へ入学するときに少人数になり、新たな環境へ飛び込んでいくことを考えると、幼稚園のうちから他園の子どもたちと関わったり、地域の小学校に足を運んでみたりするなど外の世界を知る経験があっても良いと思う。
- コロナ前までやっていた永明小学校の児童との交流などを復活してほしい。

≪保育に関わって≫

- もう少し子供らしい自由さがあってもいいのかなと思います。
- 自然との触れ合い。
- 運動面の不足
- 個々の個性や特性を活かして、それぞれの年齢に応じて、発達、興味に合わせて、見通しのもった保育や教育。
- 保育園とは違い早くに社会性が身につくと思います。子供達らしくただただ遊ぶ。は幼い頃だけの本能だと思います。課題だとは思いますが聖母幼稚園さんはどちらも大事にしてくれていると思います。

≪コロナ感染症への対応≫

- どうしようもないことですが、コロナでやりたいことが制限されてしまうのが気がかりです。
- コロナ禍ということもありますが、他の園との交流がないことから、子どもの社会が狭くなっているのではないかと感じます。

≪その他≫

- 我が子も含めてですが、行き帰りの際に、他の保護者の方が挨拶をしてくれた際に、きちんと自然に挨拶を返せるようになれると、より素敵だなぁと感じます。
- 出来ている子もたくさんいると思いますが、娘を見て思うのは、物怖じしないでまずやってみることかと思いました。
- 出来た達成感も、楽しさも、失敗した時の悔しさも、みんな含めていろいろなことをたくさん経験して大きくなってほしいと思います。
- モンテッソーリ教育についてや、子育てについて、園からアドバイスしていただいたり、相談できる場がほしいです。
- 幼稚園で聖書の教えをもう少し深く学べるというか身につけられたらと思います。小学校から教育哲学が本質主義に変わるので切り替えられるかが不安です。
- 特にありません（複数）。

○課題としては、人との関わりやコミュニケーションについて挙げられています。多くの人と関わる力をつけていく必要があります。小学校入学に向けて、幼保小連携の中で、本園の子どもたちの具体的な良さ、卒園生が小学校でも生き生きと活躍している姿を積極的に保護者にも発信していくことができるとよいと考えています。また、小学校との交流なども再開できるよう進めて参ります。
○「あそびの質を深める」「自然との関わり」「体を使うこと」等、保育の質を更に高められるよう、教職員も研修し研鑽に努めて参ります。
○全教職員で子どもたちを見守り育てているという意識をもち、学年別での活動や様子を担任の先生も把握し、またクラスでの活動や様子についても学年担当の先生も把握できるよう、情報共有し子どもの保育に生かしていきたい。

3　どのような子どもに成長してほしいと願っていますか？

≪素直で　思いやりのある子どもに≫

- 優しく思いやりのある心を持った子どもに成長してほしい。（多数）
- 人の気持ちがわかる、思いやりのある優しい子になって欲しいと願っています。
- 思いやりを持って、人と助け合えるように育って欲しいです。
- 思いやりの心を大切にして、たくさんの友人に恵まれて成長していってほしい。
- 他の人に思いやりのあり、自分の意思をきちんと持って行動できる子に育ってほしいです。
- 思いやりがあり、芯の強い人になって欲しい。
- 自分より小さな子や、弱い立場にある人に対して、自然と手を差し伸べる事ができる優しさや思いやりを持ち続けて欲しいと願います。

≪お友達と仲良く、協力できる子どもに≫

- お互いの個性を理解し合い助け合えるように成長してほしい。
- 元気でお友だちを大事に社会のルールやモラルを身につけて欲しいと思っています。
- 人と接することの楽しさを知ってほしい
- 誰とでも遊べる子どもになって欲しい。

≪多様性を認め合える子どもに≫

- 多様性を大事にする心を持ち続ける
- 違いを認め合い、助け合いができる優しい子に成長してほしいと思います。

- どんな子も、皆が色々な感情や考え方があることを知って、一人一人が自分を大切にして、大きくなってほしいです。

≪自分も、まわりの人も大切にできる子どもに≫

- 他者も自分も大切にしてほしいです。
- 自分のこともお友だちのことも大切にできる、心優しい子どもたちに成長してもらいたいと願う。
- 自分の事を大切にできる子になってほしいです。それからまわりの人を大切にして、感謝できる子になってほしいです。
- 自分自身もまわりのお友だち、関わってくれている皆さんを大事にでき、気持ちがきちんと伝えられるといいと思いました。
- 相手の悪いところ、嫌いなところ、出来ていないところなどを見つけるのは容易いですが、いいところを見つけたり、認めるということは大人でも意識しないとなかなかできない気がしました。

≪自分にはいいところがあると思い、のびのびとした子どもに≫

- のびのび元気に育ってほしい。人に優しく、礼儀のある人になってほしい。
- それぞれの子の個性をお互いに受け入れあってそれを伸ばしあっていける様になってほしいです。
- 自分の好きや得意を伸ばして欲しい。
- 自己肯定感を持ち、自分の得意なことや好きなことで社会や他者に貢献できる。
- 一つのことに一生懸命取り組める子どもになって欲しい。
- 積極性のある子。協調性のある子。
- 自分の気持ちを真っ直ぐ相手に伝えられるようになって欲しいです。顔色を伺うのではなくその感じた気持ちを大切にしてもらえたらと思います。そして自分自身を大切にして愛してもらいたいです。
- その子の良さや個性をなるべく矯正せずに育ってほしいと思います。
- のびのびと、自己肯定感の高い子。
- 子供らしく自由にのびのびと自分を表現し、人に対して寛容さと優しさを持てる子どもになってほしい。
- 一つのことに一生懸命取り組める子どもになって欲しい。
- 健やかに色々興味関心を持って、自信や意欲のある子に育ってほしいです。

≪自分で考えられる子どもに≫

- 自分で考え行動できる人になってほしい。
- 自立出来る子に成長してほしいと願っています。
- 将来生き抜く力を身に着けてほしい。
- 時代に流されず自分で考えられる子になってほしい。
- 親から少しずつ自立し、自分の力で世界を広げていけるようになってほしい。
- 自分の選択に自信が持てる子。
- 柔軟な考えを持ち、自分の道を切り開く子になって欲しい。

≪チャレンジ・挑戦する子どもに≫

- 自分の意思をしっかりもち、何事にも挑戦し続けられる子に成長してくれたら嬉しいです。
- 何度でもチャレンジする子。

≪感謝のできる子どもに≫

- 感謝の気持ちを忘れず、明るくまっすぐに成長していってもらいたいです。
- 人に感謝し、優しく出来る子に育ってほしいです

≪その他≫

- 素直で明るい子供達
- 健やかな成長を願っています

- 毎日を楽しく健康に育ってほしい
- 子どもたちが今まで経験してきた事は、しっかり今後の成長過程で活かされていくと思いますので、しっかりちのせいぼでの幼稚園生活を日々大切におくってほしいと思います。
- 信じることや祈ること、幼稚園で学んだことを、ずっと心の中に大切にできるような、まっすぐな心を持ち続けてほしいと願います。
- 多種多様な文化に触れて、柔軟な生き方ができる子どもに成長して欲しいです。
- 厳しい社会で人のためになる仕事をして活躍してほしい。

○「思いやり」「優しさ」を記述している保護者が多かったです。相手のことを考え、助け合いながら、自分も友達も大切にし、子どもがよい友達関係を築きながら、園生活を送って欲しいという強い願いが表れています。
○「自分で考え行動できること」「自己肯定感を高め、自信と意欲をもつこと」等を挙げる保護者が増えてきました。これからも予測不能な未来を生きていくためには必要なことです。園ではモンテッソーリ活動や子どもが主体的な活動ができるように取り組んで参りましたが、今後さらに力をいれていきたいと考えています。
○自己肯定感、自分自身の成長の実感を高めていくには、「励ます」「認める」ことが欠かせません。園でも家庭でも、大人も子どもと同じ姿勢で同じ活動・行動をしていく中で、子どもと共感し感動することが大事です。そして、その子なりの頑張りを認め、適時性のある励ましなど、子どもの日々の姿を温かく見つめ、成長の芽を発見し伸ばして参ります。
○他に挙げられているものも園で目指している方向と全てつながっていました。保護者にも園で目指している方向が浸透していることが伺えます。子どもたちの成長や変容を保護者に積極的に伝えていきたいです。

4　日頃お考えになっていることやご要望がありましたら、お書きください。

≪保育について≫

- いつも子供達を丁寧にみてくださりありがとうございます。
- 子どもに対して、手のかかる子だけでなく、きもちに寄り添い、受けとめたり、話を聴いてもらえると有難いと思います。
- 給食も苦手な野菜を小さく切っていただいたり、子供を良く見てくださっていて、先生方は大変かと思いますが、ちの聖母幼稚園に入園できて良かったなと思いました。いつもありがとうございます。
- 幼稚園に登園させていただき本当に毎日ありがとうございます。子育てに悩む事も家庭内では沢山あります。ですが、幼稚園で伸び伸びと自分らしく１日を楽しんできている姿を見ると本当にありがたい気持ちでいっぱいです。先生方やミールさんのお給食やお友達、全てが本当に我が子にとってありがたいです。担任の先生にも感謝しています。ありがとうございます。
- 外遊び、身体を動かす時間が少なく感じます。もう少し増やしていただきたい。
- ３年間受け入れて頂き、本当にありがとうございました。先生方、子ども達、保護者の皆さんが温かく見守って下さったお陰で通園する事が出来ました。沢山のご苦労をおかけしたと思いますが、もし今後、特別な支援が必要なお子さんがいらっしゃった時に、わが子のケースが少しでも参考になったら嬉しいです。
- 幼稚園に通うようになって、できることがかなり増えました。家庭ではできない経験が、子どもを成長させてくれるのだなと思います。これからも、子どもに色々なことを体験させていただければと思います。
- 集団行動の大切さやルールを守ることはとても大切だと思いますが、幼い子供ならではの自由をもっと受けていただければと思います

≪教職員について≫

- 数ヶ月間、子どもと一緒に園生活を送らせていただき、先生方のサポートが素晴らしいと体感しました。サポートの先生と担任の先生のコミュニケーションもバランスも良くて、感動しています。
  そんな場所で伸び伸びと自分を大切にしながら、子どもたちが大きくなってくれたら嬉しいです。
  これからも引き続きよろしくお願い致します。
- 子どもが先生方のことを「とても大好き」と、よく申しております。登園時、泣くことはありますが、「幼稚園には先生がいるから大丈夫」とも言います。先生方がいらっしゃる安心感を子供がとても感じているようで、保護者としてはとても有り難く感じております。
- 毎日、先生方には感謝しかありません。これからもよろしくお願い致します。
- いつも、先生方の気配りや優しさに、親子共に助けられています。本当にありがとうございます。
- いつも大変お世話になっております。下の子は園生活に慣れるまで時間がかかりましたが、関わってくださる先生方のおかけで今では楽しく通えています。今後ともよろしくお願いいたします。
- 上の子はもうすぐ卒園ですが、将来は幼稚園の先生になりたいと話しています。とてもいい影響を与えてくださった先生方に感謝しております。
- 子どもの姿をあらゆる角度から見守り、その様子をお聞かせいただけることに感謝しております。
- 普段から毎月子供の為に沢山の行事を行っていただき、感謝しております。普段から担任の先生が子供のことを良く見てくださり子供の長所、短所を把握し、それに合わせた指導をして下っているのが毎日の帰りのお話で分かります。親が学ばせて頂くことも多いです。
- いつもこども達にとって何がよいのかを考えて関わってくださっていてありがとうございます。
- いつも先生の子供への接し方を参考にさせていただいております。

≪家庭との連携について≫

- 預かりに出してしまうと担任の先生にお会いする機会がなくなり、園での様子が全く分からないのが気になっています。（バス通園の子も同様でしょうか。）
- 親、祖父母が園ともう少し関わる機会が持てたらと感じます。
- 毎年、思うことだが、園の行事や活動内容により、保護者へ持ち物を家庭で準備する時間が短いので大変でした。新しく入ってきた家庭への連絡、園だより、パステルの配信が遅いので対応が忙しい。
  月案など計画を立てた際に必要なことはある程度分かると思うので先に先に教えてもらいたい。

≪預かり保育について≫

- たまにある半日保育でお布団を忘れてしまう度、貸していただきありがとうございました。お昼寝の有り無しが少し難しかったです。
- 幼稚園だから仕方ないと分かっていますが、長期休みが長いので、給食のありがたみをいつも痛感します。

≪安全対策について≫

- 朝の登園時、門の前に園長先生なり先生方が不在になっていることが多々見受けられました。子どもの安全を考えるのであれば、クラスの前まで見送り、室内に入るところまで見届けたいと強く感じました。
- 園庭側から入る通路が凍っていて危ないです。
  日中雪が溶けて、水たまりになって、それが翌日凍ってという状態になっています。昨年度も通路の真ん中に雪が寄せられており、凍った雪のかたまりを乗り越えなくてはならず、とても危なかったです。今年度も少しそのようになっている場所がありました。
  雪をかくとき、雪を教会側に寄せるようにしていただけないでしょうか。園庭のフェンス側に寄せたり、マリア様のところに寄せてしまうと、結局それが溶けて水たまりになってしまいます。
  業者の方にも雪を集める場所について、お話して頂きたいです。

日々のお忙しい業務の中での雪かきの大変さはよくわかりますが、大怪我をしてからでは遅いので、塩カルを撒くだけでなく、何か対策を取って頂ければと思います。

- 雪の時期だけでなく、雨の日も水たまりがすごくて、水たまりを避けて通る場所がなく、登園前から濡れてしまうこともありました。予算もかかることなので、難しいとは思いますが、駐車場のでこぼこがもう少し整備されればと思います。ご検討よろしくお願いします。

≪環境整備について≫

- 園庭がグチャグチャ。それにより外遊びの機会が減るようでしたら改善をお願いします。
- 一つ要望で、冬季の園庭の泥濘を少しでも改善していただけたらと思います。難しいとは思いますが、よろしくお願いいたします。（複数）

≪園行事について≫

- いつも子どもが楽しめる企画や取り組みをありがとうございます。お陰様で楽しく通っている様子です。先生方、お友達には感謝しかありません。
- 昨年は御柱年でしたが、今後も地元のお祭りは幼稚園でもやってほしい。

≪コロナ禍の中での対応について≫

- 子供のマスク着用は発達面、衛生面、息苦しさなどの観点から緩和してほしいです。（各家庭の判断に任せるなど）
- コロナ禍で規制のある中でも、できる限りの対応をしてくださっていると感じます。来年度はもっと活動の幅が広がることを願うばかりです。

≪その他≫

- コロナ前のような子育てについて先生がたや外部講師のお話が聞ける機会があれば嬉しい
- 子どもたちが普段やっているおしごとについてもう少し詳しく知りたいです。参観で見ていましたが、なにか意味があるのだろうと思うけどこれは何なのかなという知らない教具などがありとても興味を持ちました。
- 四書五経や聖書の教えをベースに興味のあることを伸ばしていきたいと思っていますが、親自身ももっと教育哲学を学びたいと思うので、そういった機会を作っていけたら嬉しいなと思います
- 年間写真は期間を区切ってもらうと、見るのも選ぶのも楽でした。(一年間では多すぎて大変)
  日々、園での様子をお聞きして、時間があまり空くことなく写真を見るとますますお話してもらった内容と一致し、実感がわく。
- 要望ではないのですが、保護者会の役員の負担が大きいと話が出ています、働く親も増えてきている中で保護者会の負担を減らすかも課題なのかなとも感じております。

たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました。
「　6　今年度のまとめと今後の方向」に園としての考えを記述させていただきました。

三．学校評価委員様のご意見

【園の教育について】

〇毎回の園だより「なかよし」を楽しく、たまには考えさせられ、大変だと改めて感じさせられ、子どもたちへの愛情がヒシヒシを伝わる内容で、読ませていただいております。

〇いつもお便りありがとうございます。モンテッソーリ教育、宗教教育、そして縦割りクラス編成の活動という３つの大きな特色での取組に敬意を表します。

〇クラス分けが年少さんから年長さんまでの混合であるため、良いところが見受けられました。
年少さんが、年中さん年長さんの真似をして一生懸命に歌やダンスをしているところが良いと感じました。これは先日見させていただいた「アプローチカリキュラム」でも感じたことです。

○各クラスが縦割りとなっている特色から、年長者が年少者のお世話をするという、思いやりを育む環境をなっていると感じました。しかし、少子化の影響もあり、園児数が少なくなっている中で、同学年の園児同士が活動する、学年別の時間がより多くとった方が良いのではないかと感じた。

○元気よく挨拶をしていただき、とても和やかな気持ちになれました。

【アプローチカリキュラム公開保育参観をして】

○生き生きと活動する子ども達に元気をもらいました。ふだん、保育園との関わりが多いものですから、集中して話を聴く姿や少々抵抗のある課題にも楽しそうに取り組む姿に違いを感じました。制度的に教育機関と保育機関の違いからカリキュラム・活動内容は異なって当然ですが、入学当初に戸惑いはないのかなあ・・・なんで思ったりします。

○難しい課題にもかかわらず、子どもたちの取り組み方が活発・意欲的であり、集中している姿が印象的でした。

○ホールでの体操の前の時間のこと、ちょっとした気が緩むような時間なのだと思うが、クラスの先生方が雑談している時間が多いクラスがあった。そのちょっとした気のゆるみが事故などにつながるのではないかと感じた。

【コロナ対応について】

○マスクをきちんとしていて、感染症対策の意識が行き届いていると感じました。

○コロナ禍でも感染対策に工夫して各種行事を安全に開催されているちのせいぼ幼稚園関係者に敬意を表します。

【動画を視聴して】

○子どもたちの聴く姿勢がとても良いですね。劇や運動会も、子どもたちが心を合わせて、楽しみにして臨んでいる様子が感じられました。

○運動会を見て、みんな元気ですね。今年は運動会を是非、生で見たいです。

○クリスマス会を見て、劇の練習風景ですが、衣装、背景画とも立派で先生方の準備が大変かと思いました。子ども達はしっかりできていて感心しました。

○クリスマス会の様子を見て、一人一人役割や分担があり、クラスみんなでつくり上げていく活動は責任感や所属感を味わうことができるとともに、協力して成し遂げる満足感や達成感を味わえるので、とてもよいと思いました。充実した子どもたちの表情が印象的でした。

○指あそびについては、女児の方が男児よりよくできている印象でした。性差を踏まえた指導の工夫はどのようにされているのでしょうか。

【園の設備について】

○トイレの改修工事が実施され、園児が使いやすいトイレになっていて良かった。特に、水道が自動になっていたところは良いと感じた。

○園庭の柵…改修工事が実施され、背の高い柵になっていて、安心した。

○ホール…遊具・イスなどを片付けておくスペースがホール奥となっているため、区切られていると安全だと感じた。

【園を取り巻く環境（草刈り、草取り等）について】

私は仲町の民生委員の立場でちのせいぼ幼稚園周辺の方、周辺を生活道路にしている方々と行き会う機会が多いので、外部環境整備について直接聞いております。

ピーカーブー広場の周辺、畑の周辺、馬入れフェンス際きれいにされていてされていて高評価を頂いております。見た目も非常に大事ですので続けていきたいことです。

温かなお言葉、ありがとうございました。本園の子どもたちの育っている姿や先生方の連携のよさを捉えていただき、嬉しく思います。ひとりひとりの子どもの願いや思いをしっかり受けとめ、保護者の皆様に寄り添い、子どもたちが笑顔で園生活を送れるよう、また保護者の皆様が安心してお子様を預けられるよう日々取り組んでいきたいと思います。

四．今年度のまとめと今後の方向について（園より）

【【園の教育方針・目標の理解について】

子どもに願う姿・子どものよい姿等に挙げられているものは、園で目指している方向と全てつながっていました。保護者にも園で目指している方向が浸透していることが伺えます。今後も子どもたちの成長や変容を保護者に積極的に伝えて参ります。

【コロナ禍での子どもの学びの保証について】

今年度も新型コロナウィスル感染症対応に追われる１年でした。感染症拡大予防対策や、急な休園学級閉鎖にもご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。コロナ禍のため様々な経験の場や地域の方々との関わりが少なくなっていることを危惧する声も聴かれます。今後、新型コロナ感染症が５類になる中で、どのように対応し、子どもの学びをどのように保証していくのか、他園の取り組みも参考にし、検討してまいります。

【コロナ禍での行事のあり方について】

今年度も様々な行事が中止・縮小となり、保護者の皆様には残念な思いをされている方も多くいたのではと思います。そんな中、感染対策にご理解・ご協力を頂き、感謝の念に堪えません。誠にありがとうございました。園でも行事のあり方を見直す機会となりました。また運動会、クリスマス会、遠足等、行事を通して、子どもたちの大きな成長が見られました。今後も感染症対策を行いながら、必要なもの、不要なものを精査し、子どもたちの成長のために何を大切にするかを考え、子どもたち・保護者・保育者が共に満足できるようなものとなるよう創意工夫して参ります。

【安全対策について】

〇登園時、門の前に園長または職員が不在のことがあり、大変申し訳ありませんでした。常に職員が出迎えできるようにして参ります。

〇業者にも除雪の仕方等をお願いしておりますが、雪が解けると水たまりができ凍結してしまい、申し訳ございません。対応を検討して参ります。また駐車場と通路等は教会（横浜教区）よりお借りしております。改修等については教会と相談して参ります。

【地域との連携について】

地域に開かれた園を目指し取り組んできているが、地域に根付いている公立の園と比べると活動は少なく感じられるかもしれない。私立の幼稚園であること、また多方面の地域から在園している園児が多い中で、どのような活動をすることが地域に開かれた園となるのかは、今後も引き続き考えていきたい。　仲町区との皆様との交流（畑作り、焼き芋)、紙芝居・語りボランティアの方々との交流、また子育て支援には引き続き、積極的に取り組んで参ります。

【幼保小連携について】

本園が比較的少人数であり縦割りクラス編成であるため、課題として同年齢の子どもとの関わりやコミュニケーション能力が挙げられていました。これからの社会を生き抜いていくためには、多様な人と関わる力をつけていく必要があります。本園の子どもたちは少人数ながら、縦割り・横割りの活動の中でも友と関わりながら学ぶ素晴らしい姿が見られます。小学校入学に向けて、幼保小連携の中で、本園の子どもたちの具体的な良さ、卒園生が小学校でも生き生きと活躍している姿を積極的に保護者にも発信していくことができるよう努めて参ります。

【保護者との連携について】

園だより「なかよし」、クラスだより、学年だより、パステル Apps、電話連絡、個人懇談等を利用し、出来得る限り努めております。しかし、預かり保育やバス通園の皆様にはなかなか様子をお話できない現状があります。また、今年度も祖父母参観日がなくなるなど園でのお子様の様子を知っていただくこともあまりできませんでした。保護者の皆様に安心してお子様を預けて頂くためにも、また共に連携して子どもを育てていくためにも、今後も相互理解が図れるように努めて参ります。

【保護者会について】

認定子ども園となり、働く保護者が増えて参りました。保護者からも負担軽減を望む声があがっています。この３年間コロナ禍の中で、保護者会の活動も縮小せざるを得ませんでした。保護者会と共に、保護者の皆様のご意見を集約し、子どもたちにとって、また保護者にとって何が必要かを吟味し、検討して参ります。

【その他】

〇園庭の改善についてご意見をいただいています。園でも１０年以上前から懸案事項です。今年度は園庭整備の専門業者とも相談を重ねて参りました。芝生化するとぬかるみは解消できますが、整備に数千万円、維持管理費が年間数百万円と費用がかなりかかります。現在園舎の雨漏りがひどく、来年度は屋根と外壁の改修が急務です。またＬＥＤ化も進めていく必要があります。長期的な園全体の修繕整備計画の中で、優先順位を考え検討して参ります。

〇今後も子どもたちや保護者の皆様に寄り添い、子どもたちが笑顔で園生活を送れるよう、また保護者の皆様が安心してお子様を預けられるよう日々取り組んでいきたいと思います。